100 世界遺産の旅（149）

スイスを歩く　②

2000 年 7 月、「欧州アルプス 3 名峰」の旅は、中盤から天候に恵まれ、最後に、ローザンヌやジュネーブがあるスイス西部のレマン湖を訪れた。

レマン湖は、北側がスイス領で南側がフランス領である。スイス側は、欧州屈指の高級住宅が建ち並ぶ地域で、アメリカ映画で有名なチャールズ・チャップリンやオードリー・ヘプバーンも、晩年をこの地で過ごし、レマン湖畔に埋葬されている。

シヨン城、レマン湖、スイス、2000 年 7 月

フランスのシャモニからスイスのマルティニーを経由してレマン湖に入ると、まず左手に現れるのがモントルー近郊の湖畔に立つシヨン城である。

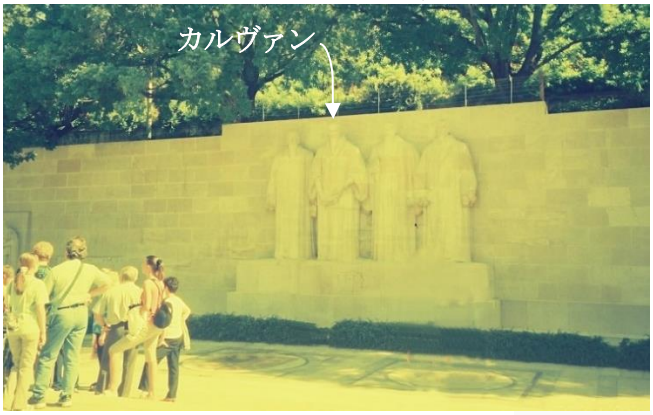
シヨン城は、バイロンの叙事詩「シヨンの囚人」の舞台であった。またジュネーブ共和国の生まれで「社会契約説」と「人民主権」を表した思想家ルソーもシヨン城に関わる小説を残している。

ネスレ本社、ヴヴェイ、レマン湖、2000 年 7 月

シオン城を過ぎると次にヴヴェイの街に入る。そこにもレマン湖に面して、ネスカフェで有名なネスレ本社がある。ネスレはもともと、乳業会社であったが、牛乳は日持ちしないので、練乳を開発し販売した。また、当時、チョコレートは、ブラックが標準だったので、そのチョコレートに牛乳を混ぜて、ミルクチョコレートを発売して成功を収めた。
なお、ネスレ日本の本社は、神戸市の三宮にある。

途中のローザンヌを通り過ぎて西へ進み、スイス最西端にして第 2 の都市ジュネーブへ向かった。地図を見てわかる通りジュネーブは、極めて特異な位置にあり、フランスに取り囲まれた都市である。

ドイツのルター、チェコのヤン・フスと並び、ジュネーブは、宗教改革者カルヴァンの聖地であり、スイス独立時には絶対手放せない都市だった。



宗教改革記念碑、ジュネーブ、スイス、2000 年 7 月

フランスの時計職人は、カルヴァン派のユグノーが多く、宗教改革時にジュネーブへ移り住み、後に、機械式時計が、スイスの国家産業となった。

機械式時計の性能では日本の SEIKO も負けないだろうが、ジュネーブに本社がある ROLEX は、徹底した秘密主義でカリスマ的国際商品に育て上げた。

2023 年、日本では稚拙な貴金属強盗が目立ったが、その ROLEX は強奪対象商品の一つであった。

サン・ピエール大聖堂、ジュネーブ、スイス

観光客には優しいが、移民に対しては極めて厳しい国スイスには、戦前に「国際連盟本部」があり、現在は「国際連合ヨーロッパ本部」や「国際赤十字委員会」の国際機関がジュネーブに集結し、平和の祭典オリンピックの国際委員会（IOC）はローザンヌにある。

永世中立を国是とし、平和象徴の国スイスは、国際機関誘致など、平和ビジネスに長けている一方、国際紛争防止に関わるコメントが少ないのが残念だ。

スイス国家も、一般企業も、マネーロンダリングが囁かれる銀行も、秘密主義を貫くお国柄のようだ。

巻末（3-11）欧州アルプス 3 名峰